新フェロー紹介（2025年）

フェローは，オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をされた方に，その功績を称えて贈られる称号です．新フェロー2名の方が理事会で以下のとおり選ばれました．フェロー記は，2025年3月6日の春季研究発表会にて贈呈されました．

小林　佑輔（こばやし　ゆうすけ）氏

〔学歴〕

2005年　東京大学工学部計数工学科卒業
2007年　東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了
2010年　博士（情報理工学）東京大学大学院情報理工学系研究科

〔職歴〕

2010年　東京大学大学院情報理工学系研究科　助教
2015年　筑波大学システム情報系　准教授
2018年　京都大学数理解析研究所　准教授

〔OR学会関連〕

2005年　第23回学生論文賞受賞
2012年　第2回研究賞奨励賞受賞
2012年～2015年　「最適化の理論と応用」研究部会幹事
2012年～2018年　庶務幹事
2013年　春季研究発表会実行委員
2021年～現在　論文誌編集委員
2023年　第13回研究賞受賞

小林氏は，組合せ最適化および離散アルゴリズムの研究に従事し，アルゴリズム理論，離散数学，グラフ理論など，ORにおける数理技法の基礎理論の発展に多くの業績を有する．特に，効率的なアルゴリズムの設計や困難性の証明など，未解決問題に対してさまざまな形で明確な解答を与える顕著な成果を挙げ，ORの理論と応用の発展に貢献している．これらの研究成果により2023年に本学会研究賞を受賞している．また，研究部会幹事，庶務幹事，論文誌編集委員を歴任し，学会の発展を支える運営にも大きく貢献している．

西原　理（にしはら　みち）氏

〔学歴〕

2003年　京都大学理学部卒業
2005年　京都大学大学院情報学研究科数理工学専攻修士課程修了
2008年　博士（情報学）京都大学大学院情報学研究科

〔職歴〕

2007年　大阪大学金融・保険教育研究センター　特任助教
2008年　大阪大学大学院経済学研究科　講師
2012年　大阪大学大学院経済学研究科　准教授
2022年　大阪大学大学院経済学研究科　教授

〔OR学会関連〕

2009年～2010年　「不確実性下の意思決定モデリング」研究部会幹事

2012年～2015年　論文誌編集委員
2019年～現在　関西支部運営委員
2023年　第13回研究賞受賞

西原氏は，コーポレートファイナンスの研究に従事し，企業と投資家間の資金調達および還元に関する意思決定について分析している．特に，企業経営における実務的課題を対象に数理モデルを構築し，ゲーム理論などを用いて企業の最適戦略を導出している．このように実務問題に対して数理モデル用いて解決する手法はORの本質であり，これらの研究成果により2023年に本学会研究賞を受賞している．また，研究部会幹事，論文誌編集委員，関西支部運営委員を歴任し，学会の発展を支える運営にも大きく貢献している．